対象地域：秋田県

再生課題：森林の再生

もりよしさんろくこうげん

森吉山麓高原自然再生協議会

再生目標　草地造成事業（昭和40年代）以前のブナ林等を再生し、クマゲラの生息に適した環境の拡大を目指す。

○ 協議会事務局
　秋田県 自然保護課、森林整備課
○ 対象地域
　秋田県北秋田市森吉山麓
　（国指定森吉山鳥獣保護区）
○ 協議会　：H17. 7.19 設立
○ 全体構想：H18. 3.31 策定
○ 実施計画：H18.10.20 策定（第一期）
　H21. 4.27 変更
　H23. 3.23 策定（第二期）
　H28. 3.18 策定（第三期）
　R 3. 3.31 策定（第四期）
（R7.3現在）

ブナをはじめとする落葉広葉樹林やクロベ、スギ、キタゴヨウなどの常緑針葉樹林が広がる森吉山麓高原周辺は、本州では数少ないクマゲラの繁殖地となっています。

しかし、昭和40年代から約490haのブナ林が牧草地に改変され、野生動植物の生息・生育域が分断・縮小されました

草地造成により失われたブナ林を再生し、周辺の森林生態系保護地域や「緑の回廊」と連続する広大な森林の形成を図ることで、クマゲラをはじめとする多種多様な動植物の生息・生育環境の拡大に取り組んでいます。

営巣中のクマゲラ

自然再生の手法

- ブナなどの広葉樹の植栽
- 多様な主体の参画による再生の推進

100年後の森づくり